

- ・区内高校（6か所）
- ・区内大学（12か所）
- ・環境関連施設（8か所）
- ・区内事業所【千代田区温暖化配慮行動計画書制度】（約320か所）
- ・生物関連サークル・ゼミ・部活動等（23か所）
- ・生物多様性に積極的に取り組む区内事業所（20か所）

●イベント、会議への参加

5月24～25日 「ちよだ・つま恋の森づくり」植樹ツアーにて、チラシの配布

7月12日 北の丸公園生きもの講座にて、チラシの配布

7月28日 セミ羽化観察会にて、チラシの配布

8月2～4日 高山市森林体験等ツアーにて、チラシの配布

6 過去の応募件数（5年分）

応募者 分類	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
個人	1	2	2	2	4
大学ゼミ	1	－	1	1	－
学校	－	1	－	1	1
団体	－	－	－	－	－
事業者	1	－	－	2	1
合計	3	3	3	6	6

7 表彰制度の見直しについて

本制度の応募件数は例年5件前後となっており、応募件数を増やすための検討が課題となっている。

令和7年2月14日に開催された令和6年度第2回生物多様性推進会議において意見を求めたところ、下記のような提案があった。これを受け、応募への間口を広げ、生物多様性の保全活動のさらなる促進を目指すことを目的に、表彰制度の見直しを検討する。

(1) 委員からの意見（令和6年度第2回生物多様性推進会議 議事要旨より抜粋）

- ・夏休みの宿題で生きものに関するものを集めたが、「生物多様性」に限ると難しい。
- ・選考対象等の記載をもう少し緩く、融通が利くような文言にするとよいのではないか。
- ・現在はどこの方々からも同じ区分で大賞を選考しているが、区分を分けて入賞選考を考える必要がある。

(2) 検討事項

- ・制度名称
- ・評価の視点
- ・表彰の対象となる活動例 等

(3) 事務局案

●制度概要

目的	生きものにやさしい活動を表彰することで、生物多様性の保全活動をする意欲を高め、積極的な活動を促す
対象	区内で生物多様性の保全等に関する活動をしている個人、団体、事業者等
表彰の対象となる活動例	①生物多様性の保全に関する活動 ②生きもののネットワークづくりに関する活動 ③生物多様性の普及啓発に関する活動 ④その他、生物多様性の推進に資する活動
評価の視点	実効性…効果が得られるか 継続性…継続しているか 波及性…活動が広がるか 先進性…先進的な活動か 独自性…ユニークな活動か
募集区分（案）	小学生部門、中学・高校生部門、一般部門

●周知方法

- ・広報紙、ホームページ、ツイッター、フェイスブック、LINE掲載
- ・生物多様性保全に取り組む企業等への個別周知
- ・九段生涯学習館を通じた自主サークル等への周知

(参考) 他自治体等の取組み

- ・日本自然保護大賞（日本自然保護協会）
- ・生物多様性アクション大賞（国連生物多様性の10年日本委員会）
- ・北国のいきもの守りたい賞（北海道）
- ・しが生物多様性大賞（滋賀県）
- ・ふるさとのいのちをつなぐ 生物多様性こうちプラン大賞（高知県環境活動支援センター）